

高田
本
山
だ
よ
り



法主殿御巡教 北へ

九月末に、法主殿とお裏方さまが北の大地に向われしました。旭岳に初雪のたよりも聞こえますが、秋の北海道とは思えないほどの暖かさです。

三尊さまの北海道別院での出開帳に合せて御巡教です。北海道のお同行の方々には良き仏縁となったのではないのでしょうか。

大勢の参詣で賑わう中、初日には本山に伝わる宗旦古流そうたんこりゅうのお点前で、お裏方さまが三尊さまに供茶をされました。二日目には稚児行列も行われ、法要に華を添えます。

途中、まさに青天の霹靂とも言える雷雨があり

ましたが、法要には全く影響がなく三尊さまのおかげであろうと噂しておりました。

両日ともに、御堂に収まりきらないほどの参詣者の前で、法主殿の御親教が行われました。

帰敬式ききょうしきを受け法名をいただく方々も満堂になるほど大勢おられ、充実し



帰敬式

た二日間となりました。

札幌を訪れた際は、どうぞ北海道別院にお参りいただき、聖人が訪られたことのない北海道まで、御念仏の息吹が広まっていることを実感していただければ幸いです。

本山だより今号の表紙は翌日のウトナイ湖です。北海道らしい冷え込みが戻る中、三尊さまが苦小牧から本山へお戻りになられる道中の風景です。



供茶

庭儀式



九月初旬に、北海道に先立ち三尊さまが岩手の選擇寺にて出開帳されました。県内唯一の高田派寺院ということで参詣者でごった返しています。

同じく九月中旬には、福井の専福寺に出開帳です。行列の風景が古の時から今に続くお念仏の息吹を感じさせてくれるようです。



選擇寺出開帳



専福寺出開帳

一光三尊佛出開帳

神戸別院
報恩寺
大誓寺
願浄寺
一乗寺
青蔵寺
保智院
常念寺

専福寺
教圓寺

成就院
関東別院

選擇寺

北海道別院

三重県内に限らず、日本各地に三尊さまが出開帳にお出かけになっています。最後となる御帰山法会まであとわずかです。世直しの三尊さまとも言われる一光三尊仏さまにお参りいたしましょう。

あなたは、もうこの法縁にあわれましたか？



11/3 - 4 納骨堂法会

■**納骨堂法会**

今年も賑やかに納骨堂法会が執り行われました。行列の参道をお参りの方々が埋め尽くします。



関東別院出開帳



大誓寺出開帳

最近の出来事

■檀信徒研修会

今回は、^{ぎょうしゅう}堯秀・^{ぎょうちよう}堯朝・^{ぎょうえん}堯圓上人を通じて高田派の受難と再興の歴史を学びました。研修会に十回出席された方々が最後に表彰されました。



9/24 仏教保育合同参拝



10/28 組長会



11/5 - 6 第35回坊守・婦人会合同研修会



10/16 第61回檀信徒研修会



毎月定例 坊守基礎講座

本山では定例で各種研修会が開催されています。ご参加をお待ちしております。

WEB VERSION

でんとうほうこうほうえ 伝灯奉告法会について

高田専修寺の法灯は御開山「親鸞聖人」より高弟真仏・顕智上人へと次第相承され、中興真慧上人を経て、八百年の長きに及んでおります。

この法灯は、親鸞聖人の御教えと宗風を今にそのまま伝えていきます。聖人の御教えを第二十四世鸞猷法主殿から第二十五世慈祥法主殿へと継承された事を阿弥陀如来、親鸞聖人に奉告する法会です。

この度の祝賀行事におひとりでも多くの方がご参詣いただきますことを、心よりお願い申し上げます。

伝灯奉告法会事務局 局長 藤源清光

ふたつの法会

ふたつのメッセージ

三尊さまが本寺へお帰りになる前の最後の御開扉法会です。

今後しばらくお姿を拝すること
ができなくなります。大切なこの
法会にぜひ御参拝ください。

一光三尊仏御開扉事務局

局長 久野俊彦

一光三尊仏御開扉山法会

一光三尊仏ご開扉
平成 28 年 3 月 25 日から
30 日まで

二つの法会期間を通じて三尊さまのご開扉が行われます。最後のご縁を大切にしましょう。

セントラル愛知交響楽団

アンサンブル演奏会

三月二十八日午後一時より
名古屋市内に拠点を置くセント
ラル愛知交響楽団の方にお越
しいただき演奏をしていただきま
す。

○ソリスト 大西宣人さん

大西さんは地元津市出身。三
重大学卒業後一年間の教員生
活を経て、演奏活動を開始。

1987年セントラル愛知交響
楽団（旧名古屋シティー管弦楽
団）に入団。2000年には、
ドイツ（マインツ）にて、日本
の発声法の第一人者森明彦氏の
マスタークラスを修了。海外で
も名の通ったフルート演奏の第
一人者です。

午後のひととき素敵なアンサン
ブル演奏会をお楽しみください。



WEB VERSION

平成 28 年 3 月

一光三尊仏御帰山法会

伝灯奉告法会

二十五日

10:00 午前法会

11:30 稚児行列

13:00 午後法会

14:00 記念講演

大谷大学名誉教授
名畑崇先生

二十六日

10:00 午前法会

11:30 祝賀行事

演奏会

13:00 午後法会

14:00 記念講演

静岡文化芸術大学学長
熊倉功夫先生

二十七日

9:00 御参廟

10:00 午前法会

11:30 祝賀行事

演奏会

13:00 午後法会

14:00 記念講演

学習院大学教授
高埜利彦先生

二十八日

10:00 日中法会

11:00 特別講演

高田派鑑学
栗原廣海先生

12:00 通り参拝

13:00 演奏会

セントラル愛知交響楽団

二十九日

10:00 日中法会

13:00 特別講演

東方学院講師
黒川文子先生

12:00 通り参拝

13:00 落語会

笑福亭仁智さん

三十日

10:00 日中法会

13:00 特別講演

佐藤第二病院院長
田畑正久先生

12:00 通り参拝

三十一日

8:45 一光三尊仏お送り団参出発



笑福亭仁智さん

三月二十九日午後一時より

昭和四十六年笑福亭仁鶴に師事、入門。上方の古典落語と創作落語に取り組むかたわらテレビ等でも活躍されています。笑福亭仁鶴の総領弟子です。



申経と書いて「もうしぎょう」と読むよ！

伝灯奉告法会、一光三尊仏御帰山法会期間中は、毎日慶讃行事が行われます。お目当手の行事だけじゃなくて法会にもあえるように予定を組んで来てね！

・・・尊前特別読経（申経）のご案内・・・

一光三尊仏御開扉中の三 読経時間帯

月二十八日～三十日まで 28日（月）～30日（水）

の間、御影堂の一光三尊 午後二時半

仏尊前において特別読経 場所 御影堂中陣

（申経）を行います。三 冥加金 二万円以上

尊さま御開扉をご縁にお *法名等をあげて読経い

申し込み下さい。 たします。

WEB VERSION

「釈尊」

釈尊シリーズ①

佛ぶつになる教え、すなわ

ち「佛教」をはじめて説かれた釈尊しやくそんとは、どのような方であったのか、また、どのようなことを教えたのか。本号から二十四回にわたり、釈尊のご生涯を追いつながら、その教えを聞いていきます。

釈尊在世の年代は、伝承や研究者により生没年について諸説ありますが、現在の日本では紀元前四六三年から三八三年とする中村元説なかむらはじめが有力となっているようです。

そのころインドではバラモン教が広まっております、インド史の中でもさまざまな思想家の活動した時期であったようです。

す。日本は縄文時代の晩期のことでした。

釈尊は、幼少のころは、「ゴータマ・シツダールタ」と呼ばれました。「ゴータマ」は姓で、最も優れたという意味で、最も優れた牛という意味になります。「シツダールタ」は個人名で、「シツダ」とは成就した、「アルタ」とは目的という意味で、大願成就、目的を果たしたという意味になるということです。

釈尊は、一般的には「お釈迦さま」と呼ばれ、また「釈迦牟尼しやくかむに」とも呼ばれますが、牟尼しやうじやとは賢者、聖者という意味で、釈尊は釈迦族の生んだ聖者なので釈迦牟尼とい

うのです。牟尼の意味を受けて訳すと釈尊となるわけです。また、世にも尊い方という意味で、「世尊せそん」とも呼ばれました。

釈尊の家系は、古い詩ではしばしば太陽の末裔まつえいと謳うたわれていて、漢訳佛典ではこれを「日種族」といつています。インドの王族は太陽の子孫か月の子孫かどちらかだと決められていたそうです。

父はスッドーダナじやうぼんのう（浄飯王）といひます。「スツダ」とは清らかな、純粋な、混じりけがないという意味で、「オーダナ」は米飯のことです。釈迦族は稲作に従事して、白米のご飯を珍重していたといわれます。

母はマヤー夫人

（摩耶夫人まやふにん）といひますが、釈尊誕生ののち七日で亡くなり、釈尊は母の妹に養育されました。

釈尊は悟りを開いて佛となられました。佛とは「ブツダ」、すなわち「目覚めた人」という意味です。後には「佛陀」とも書かれます。「悟る」とは、無知なるゆえに世界や人生をまちがってとらえ、誤った生き方をしていたものが、世界や人生の本当のあり方を知り、正しい世界観と人生観に立つて「本当の自分を回復する」ということです。「目覚めた人」とな

（教学院第三部会）

WEB VERSION

リレー法話

いのち

浄源寺住職
塩崎慶脩

9/2 法話発表会

定例で開催される法話発表会でお話をする塩崎住職。発表者それぞれが法話のありかたに真剣にとりくんでいます。聴講はどなたでもできますので、このような会にもご参加ください。

「明日こそ幸せになるぞと言って、今日、今を生きていない」

この言葉は学生の時、師から教わった言葉ですが今日という日に不足を感じ大切に思えない事に対する言葉です。私達は日頃、全ての物事に対し自分にとって都合が良い悪いで判断する事が多くあります。都合が悪い事が起きると今日は不幸な一日としか受け止められず、またそのような幸か不幸という価値観から離れられない私達なのです。

私達の命は様々な縁の上に成り立っていますから、縁しだいでは都合の良い事も悪い事も起こり得るのです。都合が悪いからといって明日を頼み今日を大切に出来ないでいると、明日もきっと同じ事を繰り返すでしょう。

この世に生を受け生きている限り、困難な事、耐えがたい事が多くあります。しかし、有ること難しという世界に生かされていると気づいた時、今日、今と向き合い大切にすることが出来るのではないのでしょうか。



報恩講法要巡り 開催中

真宗教団連合が主催する真宗各派の報恩講法要巡りが、本年度開催されます。高田本山は最後の日程に報恩講が開催されますので、機会があれば参加してみても楽しいかもしれません。

境内の総合案内所に専用スタンプ帳が用意されています。

一光三尊仏お送り団参

平成 28 年 3 月 31 日～4 月 2 日

本寺にお帰りになる一光三尊仏さまを野州まで一緒に送り出す参拝団に参加しませんか。締め切りは 2 月 29 日です。次の三尊さまの御開扉までは十年以上間があいてまいります。親鸞聖人直拝のほとけさまとの最後のご縁をお結びください。詳しくは一光三尊仏御開扉事務局（TEL 059-232-4177）にお問い合わせください。

また、同日程で本寺を訪れる中学生教化合宿もご案内予定です。



お七夜子ども大会

お七夜期間中の青少年育成行事

平成 28 年 1 月 10 日 13 時より

楽しく、お七夜にお参りしましょう。当日受付。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

お七夜新成人のつどい

平成 28 年 1 月 11 日 10 時半より

新しく成人の仲間入りをされるみなさんを対象に新成人のつどいを開催いたします。厳かな一日を高田本山で過ごしませんか。当日受付・参加無料です。

中興上人御正當 平成二十七年十二月八日～十日
除夜の鐘 十二月三十一日

本山諸法会ではありませんが、大勢の参詣があり、鐘をついていただけます。

修正会 平成二十八年一月一日～三日
讃仏会 三月十七日～二十三日

新年はお七夜さんからはじめよう 平成 28 年 お七夜報恩講

2016 年 1 月 9 日～16 日

お七夜期間中のおつとめとおはなし

	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
7:00 晨朝勤行 説教	■	■	■	■	■	■	■	■
9:00 如来堂特別講演				■	■			9:00 御参詣
10:30 日中勤行 説教	■	■	■	■	■	■	■	■
12:30 大講堂説教	■	■	■	■	■	■	■	■
14:00 速夜勤行 説教	■	■	■	■	■	■	■	■
16:30 初夜勤行 説教	■	■	■	■	■	■	■	■
23:00 後夜勤行								■

毎年、お七夜にお参りして
いますか？お寺に初詣は？
新年に、大切な報恩感謝の
気持ちを新たに、この一
年を過ごしましょう。
門前の賑わいを楽しみだけ
でなく、御堂で心の静寂を味
わってください。後夜を除き
おつとめ（勤行）の後にはお
はなし（説教）があります。
おはなしは、布教使さんの個
性が出ています。お気に入り
の布教使さんを見つけて、
そこから始めていただくと、
もつとおつとめが身近なで
しょう。

なかでも、一月十五日
はお七夜のクライマックス
です。翌朝の親鸞聖人
のお墓への御参廟に向け
て盛り上がりを迎えま
す。
そのメインイベントと
も言える初夜に参詣して
親鸞聖人の御生涯をふり
かえる報恩講式文の通読
にあうのはいかがでしょ
うか。各地の婦人会の皆
さんも大勢お参りになっ
ていて、賑やかにお参り
いただけると思います。
お時間が許せば、その
後に続く、地域の同行念
仏もまた味わい深いもの
があります。深夜には厳
かな雰囲気の中、後夜と
呼ばれるおつとめがあり
ます。黒一色の法衣をま
とった僧侶が出入二門偈
をおつとめします。

● イベント案内

一月 九日

お七夜高田派青年会

一月 十日

お七夜子ども大会
献書表彰式

一月 十一日

新成人のつどい

一月 十二日

責任役員会

一月 十三日

お七夜坊守会

一月 十四日

他山ご焼香

お七夜婦人連合会

一月 十五日

お七夜婦人連合会初夜参詣
ししこ念仏
通夜念仏

寺院名

一月九日～十七日

お七夜献書展作品展示

一月十日～十五日

お七夜生花展

一月九日～十五日

宗旦古流呈茶

一月九日～十六日

宝物館特別展観

イベント詳細はチラシな
どでご確認ください。

★安楽庵見学は茶室修理の為
お七夜期間中もありませんの
でご容赦ください。

高田本山



Senjuji

三重県津市一身田町
2819
真宗高田派本山専修寺